



## 2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月10日

上場会社名 イフジ産業株式会社 上場取引所 東・福  
 コード番号 2924 URL http://www.ifuji.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤井 宗徳  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 原 敬 (TEL) 092-938-4561  
 四半期報告書提出予定日 2020年11月11日 配当支払開始予定日 2020年12月10日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	6,350	△3.3	494	9.7	506	9.7	359	15.8
2020年3月期第2四半期	6,564	△3.2	450	29.4	461	28.7	310	24.6

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 363百万円(17.2%) 2020年3月期第2四半期 309百万円(27.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	44.04	—
2020年3月期第2四半期	37.84	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	10,538	6,336	60.1
2020年3月期	10,448	6,032	57.7

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 6,336百万円 2020年3月期 6,032百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	9.00	—	11.00	20.00
2021年3月期		10.00			
2021年3月期(予想)			—	12.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

(注) 期末配当予想については、本日(2020年11月10日)に公表いたしました「通期業績予想及び期末配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

## 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,854	△3.2	1,036	11.7	1,057	11.2	717	16.8	87.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注) 通期業績予想については、本日(2020年11月10日)に公表いたしました「通期業績予想及び期末配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) — 、除外 — 社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期2Q	8,345,370株	2020年3月期	8,345,370株
2021年3月期2Q	166,241株	2020年3月期	203,991株
2021年3月期2Q	8,155,976株	2020年3月期2Q	8,192,877株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染が引き続き拡大して国内外の経済活動が停滞・縮小し、極めて厳しい状況が続きました。

食品業界におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための外出自粛要請や休業要請、テレワークの推進等により外食等の需要が減少する一方で、中食・内食の需要が増加する等、食に対する需要が大きく変化しました。

このような状況の中、当社グループの当第2四半期連結累計期間の連結売上高につきましては、前年同期比3.3%減の6,350百万円となりました。

損益につきましては、連結営業利益は同9.7%増の494百万円（3期連続増益）、連結経常利益は同9.7%増の506百万円（3期連続増益）、親会社株主に帰属する四半期純利益は同15.8%増の359百万円（2期連続増益）となり、いずれも第2四半期累計期間における過去最高益を前期に引き続き更新しました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

## ①鶏卵関連事業

当セグメントにおきましては、主要な商品である液卵の製品販売単価及び原料仕入単価が鶏卵相場に連動して変動するものが多く、鶏卵相場が高く推移した場合は製品販売単価及び原料仕入単価ともに高く推移し、鶏卵相場が低く推移した場合は製品販売単価及び原料仕入単価ともに低く推移する傾向にあります。そのため、製品販売単価と原料仕入単価の差益の一定額以上の確保と販売数量の確保により利益が最大になるように努力をしております。

当セグメントにおける販売数量につきましては、新規取引先の獲得に努めたこと及び外出自粛や休業要請等に伴う冷凍食品等の「巣ごもり消費」である内食向けで増加したものの、土産菓子や外食向け等を中心とした全体的な需要の落ち込みをカバーするには至らず、前年同期比3.3%減となりました。なお販売数量につきましては、新規取引先へのアプローチや新たな需要の掘り起こし等の営業施策により販売数量が徐々に回復してきており、第1四半期累計期間の6.3%減から減少幅が縮小しております。

売上高につきましては、主に販売数量の減少により液卵売上高は前年同期比4.4%減の5,344百万円となりました。また加工品売上高も需要減により同19.6%減の200百万円となりました。その他売上高は鶏卵直送販売が増加したこと等により同36.2%増の254百万円となりました。この結果、当第2四半期連結累計期間の当セグメント合計の売上高は同3.8%減の5,799百万円となりました。

セグメント利益につきましては、購買施策の多様化による材料費の低減、工場の生産効率の向上や歩留まりの向上等、業績を向上させるべく様々な施策を講じた結果、前年同期比5.4%増の462百万円となりました。

## ②調味料関連事業

当セグメントの売上高につきましては、インスタントラーメン等の「巣ごもり消費」向けの販売が増加したこと等により、前年同期比2.3%増の561百万円となりました。

セグメント利益につきましては、売上高の増加やテレワークの拡大に伴う出張旅費等の販売費及び一般管理費の減少により前年同期比584.5%増の22百万円となりました。

## ③その他

当セグメントは太陽光発電であり、売上高は前年同期比3.1%増の14百万円となり、セグメント利益は同12.7%増の9百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は10,538百万円となり、前連結会計年度末に比べ89百万円増加しました。

流動資産は5,555百万円となり、前連結会計年度末に比べ104百万円増加しました。主な要因は、商品及び製品の増加353百万円、現金及び預金の減少153百万円、受取手形及び売掛金の減少229百万円等によるものであります。

固定資産は4,982百万円となり、前連結会計年度末に比べ14百万円減少しました。主な要因は、建物及び構築物の減少31百万円等によるものであります。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は4,201百万円となり、前連結会計年度末に比べ214百万円減少しました。

流動負債は2,215百万円となり、前連結会計年度末に比べ173百万円減少しました。主な要因は、短期借入金の増加136百万円、支払手形及び買掛金の減少171百万円等によるものであります。

固定負債は1,986百万円となり、前連結会計年度末に比べ41百万円減少しました。主な要因は、長期借入金の減少41百万円等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は6,336百万円となり、前連結会計年度末に比べ304百万円増加しました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益359百万円の計上等によるものであります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の57.7%から60.1%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における「現金及び現金同等物の四半期末残高」は、前年同期に比べ208百万円増加し1,774百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動により使用された資金は、前年同期に比べ394百万円増加し4百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益の計上518百万円、減価償却費の計上186百万円、売上債権の減少226百万円等により資金が増加し、たな卸資産の増加396百万円、仕入債務の減少171百万円、法人税等の支払い169百万円等により資金が減少したこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動により使用された資金は、前年同期に比べ6百万円減少し153百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出151百万円により資金が減少したこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動により得られた資金は、前年同期に比べ434百万円増加し4百万円となりました。これは主に、短期借入金の純増加額107百万円、長期借入金の借入による収入200百万円等により資金が増加し、長期借入金の返済による支出212百万円、配当金の支払額89百万円等により資金が減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては従来未定としておりましたが、当第2四半期連結累計期間の業績を踏まえ、現時点で入手可能な情報に基づき算定いたしましたのでお知らせいたします。なお、詳細につきましては、本日(2020年11月10日)公表の「通期業績予想及び期末配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,464	2,311
受取手形及び売掛金	1,970	1,741
商品及び製品	728	1,081
仕掛品	34	55
原材料及び貯蔵品	235	257
その他	21	110
貸倒引当金	△3	△2
流動資産合計	5,450	5,555
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,857	1,825
機械装置及び運搬具(純額)	1,004	1,001
土地	1,915	1,915
その他(純額)	55	48
有形固定資産合計	4,832	4,791
無形固定資産		
	6	5
投資その他の資産		
投資有価証券	142	151
繰延税金資産	3	3
その他	14	36
貸倒引当金	△2	△4
投資その他の資産合計	158	185
固定資産合計	4,997	4,982
資産合計	10,448	10,538
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	619	447
短期借入金	898	1,034
未払法人税等	201	177
未払消費税等	22	5
賞与引当金	69	72
その他	577	478
流動負債合計	2,388	2,215
固定負債		
長期借入金	1,402	1,360
長期未払金	562	562
繰延税金負債	35	35
その他	26	26
固定負債合計	2,027	1,986
負債合計	4,415	4,201
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	455	455
資本剰余金	366	372
利益剰余金	5,295	5,565
自己株式	△131	△107
株主資本合計	5,986	6,286
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	46	50
その他の包括利益累計額合計	46	50
純資産合計	6,032	6,336
負債純資産合計	10,448	10,538

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	6,564	6,350
売上原価	5,155	4,851
売上総利益	1,409	1,499
販売費及び一般管理費	958	1,004
営業利益	450	494
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	1	1
受取賃貸料	12	12
その他	3	3
営業外収益合計	17	17
営業外費用		
支払利息	5	5
その他	0	—
営業外費用合計	5	5
経常利益	461	506
特別利益		
補助金収入	0	—
受取保険金	—	12
特別利益合計	0	12
特別損失		
固定資産除売却損	12	0
災害による損失	0	—
特別損失合計	13	0
税金等調整前四半期純利益	449	518
法人税、住民税及び事業税	151	160
法人税等調整額	△11	△1
法人税等合計	139	159
四半期純利益	310	359
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	310	359

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	310	359
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	4
その他の包括利益合計	△0	4
四半期包括利益	309	363
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	309	363
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	449	518
減価償却費	189	186
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	—	2
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△0	2
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	21	—
受取利息及び受取配当金	△1	△1
支払利息	5	5
受取保険金	—	△12
補助金収入	△0	—
固定資産除売却損益 (△は益)	12	0
売上債権の増減額 (△は増加)	310	226
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△120	△396
仕入債務の増減額 (△は減少)	△167	△171
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△12	△16
長期未払金の増減額 (△は減少)	△4	—
その他	△133	△186
小計	546	156
利息及び配当金の受取額	1	1
利息の支払額	△6	△5
保険金の受取額	—	12
補助金の受取額	0	—
法人税等の支払額	△152	△169
営業活動によるキャッシュ・フロー	389	△4
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△204	△204
定期預金の払戻による収入	204	204
有形固定資産の取得による支出	△143	△151
投資有価証券の取得による支出	△23	△2
その他	7	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△159	△153
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	12	107
長期借入れによる収入	—	200
長期借入金の返済による支出	△242	△212
自己株式の取得による支出	△124	△0
配当金の支払額	△75	△89
財務活動によるキャッシュ・フロー	△430	4
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△199	△153
現金及び現金同等物の期首残高	1,766	1,927
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,566	1,774

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	鶏卵関連事業	調味料関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,029	521	6,550	14	6,564
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	27	27	—	27
計	6,029	548	6,577	14	6,592
セグメント利益	438	3	442	8	450

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	442
「その他」の区分の利益	8
四半期連結損益計算書の営業利益	450

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	鶏卵関連事業	調味料関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,799	535	6,335	14	6,350
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	25	25	—	25
計	5,799	561	6,361	14	6,376
セグメント利益	462	22	484	9	494

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	484
「その他」の区分の利益	9
四半期連結損益計算書の営業利益	494

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。